

平成26年度春夏作芝関係 除草剤・生育調節剤試験判定結果

(公財)日本植物調節剤研究協会

平成26年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験成績検討会は、平成26年11月18日(火)にメルパルク大阪において開催された。

この検討会には、試験場関係者20名、委託関係者49名ほか、計75名の参集を得て、除草剤29薬剤(199点)、

生育調節剤5薬剤(24点)、展着剤1薬剤(4点)について、試験成績の報告と検討が行われた。

その判定結果および使用基準については、次の判定表に示す通りである。

平成26年度春夏作芝関係除草剤・生育調節剤試験供試薬剤および判定一覧

注)ウダ・ラインは新たに判定された部分を示す

A. 除草剤										
薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種・類 新・旧 の別	試験担当場所 △は試験中など (数)	ねらい・試験設計等		備考	判定	判定内容		
1. BAI-1211 フェンチン 新規化合物:34.2% (w/v) 〔BASFジャパン〕	ペンタゲ ラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 かごしま空港(CC (3)	ねらい	コナシ生育期	処理後7、14、30日 後に調査 コナシの再生がみられ 始めた時に、2回目 処理 展着剤を加用す る 2回目処理の前に 調査	雑	雑	・効果葉害の確認 (ペンタゲラス)	
				対象 雑草	一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 コナシ					
				設計 薬量 <水量> /㎡	草葉処理 芝生育期、コナシ生育期 0.02mL×2回 <100mL> 0.02mL×2回 <200mL> 0.04mL×2回 <100mL> 対) 芝用コナシフェンチン 芝生育期、コナシ生育期 0.4mL×2回 <100~200mL>					
2. BAI-1306 乳 新規化合物:64% 〔BASFジャパン〕	コウライシ ン	作用性 新規	横調研 J福岡	(2)	ねらい	雑草発生前	処理後60日程度で 中間調査をおこな い、処理後90日 を目途に最終調査	雑	雑	・効果葉害の確認 (コウライシン)
				対象 雑草	一年生(科) 全般 一年生広葉 全般 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 ヒメクグ					
				設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2mL <200~300mL> 0.3mL <200~300mL> 0.4mL <200~300mL> 対) シバノ乳剤 芝生育期、雑草発生前 0.3mL <200~300mL> 対) コウライシン 芝生育期、雑草発生前 0.5mL <200~300mL>					
	日本芝	作用性 新規	横調研	(1)	ねらい	ヒメクグ発生前	処理後60日程度で 中間調査をおこな い、処理後90日 を目途に最終調査	雑	雑	
				対象 雑草	一年生(科) - 一年生広葉 - 多年生(科) - 多年生広葉 - その他 ヒメクグ					
				設計 薬量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期、ヒメクグ発生前 0.2mL <200mL> 0.3mL <200mL> 0.4mL <200mL> 対) 一任					

A. 除草剤

薬 剤 名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・継 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい、試験設計 等	備 考	判定	判定内容
2. BAH-1306 乳 つづき	日本芝	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 ヒメクグ発生初期 一年生仔根 - 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 ヒメクグ 設計 薬量 <水量> /ml 土壌処理 芝生育期、ヒメクグ発生初期 0.2ml、<200ml> 0.3ml、<200ml> 0.4ml、<200ml> 対) 一任			
	コウライシ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研	ねらい 対象 雑草 雑草発生前 一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 (ヒメクグ) 設計 薬量 <水量> /ml 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2ml、<200ml> 0.2ml、<300ml> 0.4ml、<200ml> 対) シメツ乳剤 芝生育期、雑草発生前 0.3ml、<200~300ml>	処理後90日前後で 雑草調査		
	ソバ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研	ねらい 対象 雑草 雑草発生前 一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 (ヒメクグ) 設計 薬量 <水量> /ml 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2ml、<200ml> 0.2ml、<300ml> 0.4ml、<200ml> 対) シメツ乳剤 芝生育期、雑草発生前 0.3ml、<200~300ml>	処理後90日前後で 雑草調査		
3. BAH-1408 カロフル 新規化合物・50% (w/v) [BASFジャパン]	コウライシ バ	作用性 新規	J福岡	ねらい 対象 雑草 雑草発生前 一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /ml 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2ml、<200ml> 0.3ml、<200ml> 0.4ml、<200ml> 対) カロフル カロフル 芝生育期、雑草発生前 0.5ml、<200ml>		-	(作用性)
	ソバ	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 雑草発生前 一年生仔根 全般 一年生広葉 全般 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /ml 土壌処理 芝生育期、雑草発生前 0.2ml、<200ml> 0.3ml、<200ml> 0.4ml、<200ml> 対) カロフル カロフル 芝生育期、雑草発生前 0.5ml、<200ml>			
	日本芝	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 ヒメクグ発生前 一年生仔根 - 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 ヒメクグ 設計 薬量 <水量> /ml 土壌処理 芝生育期、ヒメクグ発生前 0.2ml、<200ml> 0.3ml、<200ml> 0.4ml、<200ml> 対) 一任			
日本芝	作用性 新規	植調研 (1)	ねらい 対象 雑草 ヒメクグ発生初期 一年生仔根 - 一年生広葉 - 多年生仔根 - 多年生広葉 - その他 ヒメクグ 設計 薬量 <水量> /ml 土壌処理 芝生育期、ヒメクグ発生初期 0.2ml、<200ml> 0.3ml、<200ml> 0.4ml、<200ml> 対) 一任				

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類・種 別	試験担当場所 への試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
4. BAH-1409 乳 新規化合物:20% 新規化合物:20% (w/v) [BASFジャパン]	コウライシ バ	作用性 新規	J福岡	(1) ねらい 除草発生前 対象 雑草 一年生雑草 全般 一年生広葉 全般 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 0.2mL <200mL> 0.3mL <200mL> 0.4mL <200mL> 対) モニタリング 芝生初期、雑草発生前 0.5mL <200mL>		-	(作用性)
	リンバ	作用性 新規	植調研	(1) ねらい 除草発生前 対象 雑草 一年生雑草 全般 一年生広葉 全般 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 0.2mL <200mL> 0.3mL <200mL> 0.4mL <200mL> 対) モニタリング 芝生初期、雑草発生前 0.5mL <200mL>			
	日本芝	作用性 新規	植調研	(1) ねらい ヒメクダ発生前 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 - 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 ヒメクダ 設計 薬量 (水量) /㎡ 0.2mL <200mL> 0.3mL <200mL> 0.4mL <200mL> 対) 一任			
	日本芝	作用性 新規	植調研	(1) ねらい ヒメクダ発生初期 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 - 多年生雑草 - 多年生広葉 - その他 ヒメクダ 設計 薬量 (水量) /㎡ 0.2mL <200mL> 0.3mL <200mL> 0.4mL <200mL> 対) 一任			
5. BEH-447 フォアブル ホムルホムル:2, 2% [ベネッセコーポレーション]	リンバ	作用性 新規	東日本G研 J福岡	(2) ねらい スズメノカタビラ発生初期(2回処理) 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 - 多年生雑草 スズメノカタビラ 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 0.25mL × 2 5月→6月 <100mL> 0.25mL × 2 6月→7月 <100mL> 対) モニタリング(顆粒水和) 芝生初期・雑草発生期 0.0045g × 2 5月→6月 <100~200mL> 0.0045g × 2 6月→7月 <100~200mL>	株の直径が15cm以 下の個体と15cm以 上の個体でそれぞ れの評価を行う。 処理時の草丈の記 載 展着剤加用 2回目処理は、それ ぞれ1回目処理後 30日が目安 調査は1回目処理 後30日、2回目処理 直前、処理30、60日 後程度	実・雑 実)	[春夏作:(コウライシバ、リンバ、)一年生 雑草、多年生広葉雑草] ・芝生初期、雑草発生期 ・0.2~0.3mL <100~150mL>/㎡ ・茎葉処理 [春夏作:(バーミーダグアス)一年生雑 草、多年生広葉雑草] ・芝生初期、雑草発生期 ・0.15~0.25mL <100~200mL>/㎡ ・茎葉処理 [春夏作:(コウライシバ、リンバ、)スズメノカタ ビラ] ・芝生初期、雑草発生期 ・0.2~0.3mL <100~200mL>/㎡ ・茎葉処理
	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中目G研 J福岡	(4) ねらい スズメノカタビラ類 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 - 多年生雑草 スズメノカタビラ類 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 0.2mL <100mL>、 0.2mL <200mL> 0.25mL <100mL>、 0.3mL <100mL> 対) モニタリング(顆粒水和) 芝生初期・雑草発生期 0.0045g <100~200mL>	株の直径が15cm以 下の個体で評価 処理時の草丈の記 載 処理は6月に入っ てから行う。 調査は処理後30日 程度	雑)	・一年生雑草、多年生広葉雑草に対す る低薬量(0.15mL)での効果の確認 (コウライシバ、リンバ) ・スズメノカタビラに対する効果の確認 (コウライシバ、リンバ) ・リンバに対する効果の確認 (コウライシバ、リンバ) ・連用試験での確認 (コウライシバ、リンバ、バーミーダグアス) ・実証試験での確認 (コウライシバ、リンバ、バーミーダグアス) ・前年期薬害の確認 (コウライシバ、リンバ、バーミーダグアス) ・高温期薬害の確認 (コウライシバ、リンバ、バーミーダグアス)
	コウライシ バ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 西日本G研	(3) ねらい チガヤ発生期 対象 雑草 一年生雑草 - 一年生広葉 - 多年生雑草 チガヤ 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 0.2mL <100mL>、 0.2mL <200mL> 0.25mL <100mL>、 0.3mL <100mL> 対) モニタリング(顆粒水和) 芝生初期・雑草発生期 0.0045g <100~200mL>	処理時の草丈の記 載 処理は6月に入っ てから行う。 調査は処理後30日 程度		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の種 類・種 別	試験担当場所 〈>は試験中など (仮)	ねらい、試験設計 等	備 考	判定	判定内容
5. BEH-147 フロアブル つづき	フバ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 新中国G研 J福岡	(4) ねらい ビ/ヒノ類生育期 対象雑草 一年生仔株 一年生広葉 多年生仔株 多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.2ml <100ml>, 0.2ml <200ml> 0.25ml <100ml>, 0.3ml <100ml> 対) ヒュウチン顆粒水和 芝生育期・雑草生育期 0.0045g <100~200ml>	株の直径が15cm以下 の個体で評価 処理時の草丈の記載 処理は6月に入っ てから行う。 調査は処理後30日 程度。		
	フバ	適用性 継続	東日本G研 関西G研 西日本G研	(3) ねらい 対象雑草 一年生仔株 一年生広葉 多年生仔株 多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生育期・雑草生育期 0.2ml <100ml>, 0.2ml <200ml> 0.25ml <100ml>, 0.3ml <100ml> 対) ヒュウチン顆粒水和 芝生育期・雑草生育期 0.0045g <100~200ml>	処理時の草丈の記載 処理は6月に入っ てから行う。 調査は処理後30日 程度。		
6. BEH-1301 フロアブル 76%エチド:41.6% [バ インドロップ キュニス]	コウライシ バ	適用性 継続	J埼玉 静岡G場協会 森林公園G場 新中国G研 西日本G研	(5) ねらい 対象雑草 一年生仔株 一年生広葉 多年生仔株 多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.2ml <200ml>, 0.2ml <300ml> 0.25ml <200ml>, 0.3ml <200ml> 対) フルオロアザール 芝生育期・雑草発生前 0.1ml <200~300ml>	展着剤不要 処理後90~120日 で調査。	実・継	表) [春夏作(コウライシバ、フバ)一年生 雑草] ・芝生育期・雑草発生前 ・0.2~0.3ml <200~300ml>/㎡ ・土壌処理 継) ・連用薬害の確認(コウライシバ、フバ) ・実証試験での確認(コウライシバ、フバ) ・高温期薬害の確認(コウライシバ、フバ) ・緑化木への影響の確認
	フバ	適用性 継続	東日本G研 J埼玉 静岡G場協会 新中国G研 西日本G研	(5) ねらい 対象雑草 一年生仔株 一年生広葉 多年生仔株 多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.2ml <200ml>, 0.2ml <300ml> 0.25ml <200ml>, 0.3ml <200ml> 対) フルオロアザール 芝生育期・雑草発生前 0.1ml <200~300ml>	展着剤不要 処理後90~120日 で調査。		
コウライシ バ	倍量薬害 新規	森林公園G場 西日本G研	(2) ねらい 対象雑草 一年生仔株 一年生広葉 多年生仔株 多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 0.3ml <200ml> 0.6ml <200ml> 0.6ml <400ml>	展着剤不要			
	フバ	倍量薬害 新規	東日本G研 J埼玉	(2) ねらい 対象雑草 一年生仔株 一年生広葉 多年生仔株 多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 0.3ml <200ml> 0.6ml <200ml> 0.6ml <400ml>	展着剤不要		
コウライシ バ	作用性 新規	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 対象雑草 一年生仔株 一年生広葉 多年生仔株 多年生広葉 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝芽期 0.3ml <200ml>	展着剤不要			

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類・種 別	試験担当場所 （※は試験中など ）(枚)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
6. BEH-1301 フェブリン つづき	シバ	作用性 新規	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 萌芽期葉害 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (本量) /㎡ 土壌処理 芝萌芽期 0.3ml <200ml>	展着剤不要		
7. CH-900 フェブリン 77.5%+0.4% 【エス・ディー・エス・ビィ （株）】	コウライシ バ	実証試験 継続	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 実証試験 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 フェブリン 設計 薬量 (本量) /㎡ 土壌処理 フェブリン発生前～発生初期 0.375ml → 0.375ml(2回処理) <200～ 300ml> 対) シバ乳剤 芝発生前～発生初期 0.3ml → 0.3ml(2回処理) <200ml～300ml>	1回目:フェブリン発生 前、2回目:1回目処 理の3週間後～4週 間後、2回目処理45 ～60日後を目処に 調査 西南暖地が試験地 の場合は必要に応 じて2月下旬～3月 上旬に一回目処理 を行う。	実 証 継 続 来 ど お り	(実) 「春夏作(コウライシ、シバ)一年生(科)雑草」 ・芝生初期、雑草発生前 ・0.25～0.5ml<200～300ml>/㎡ ・土壌処理 【春夏作(コウライシ、フェブリン)】 ・芝生初期、 1回目:雑草発生前 2回目:雑草発生前～発生初期 ・0.25～0.5ml<200～300ml>/㎡2回 ・土壌処理 注) 散布間隔は1ヶ月を目安とする
8. GG-155 顆粒水和 剤(77.5%+75%) 【住化ケイシン】	コウライシ バ	適用性 継続	J埼玉 森林公園G場 関西G研 新中国G研	(4) ねらい シバ発生前 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 - 設計 薬量 (本量) /㎡ 土壌処理 芝生初期 雑草発生前 0.1g <200ml> 0.1g <300ml> 0.2g <200ml>	調査は60日を希望 しますが、効力持 続期間を確認しな がら調査日数の短 縮・延長を希望	実・継 続	(実) 「春夏作(コウライシ、シバ、ベントグラス)」 ・芝生初期、雑草発生前 ・0.1～0.2g<200～300ml>/㎡ ・土壌処理 【春夏作(コウライシ、シバ、ベントグラス)】 ・一年生広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生初期、雑草発生前～発生初期 ・0.1～0.2g<200～300ml>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 【春夏作(コウライシ、フェブリン)】 ・芝生初期、雑草発生初期 ・0.1～0.2g<200～300ml>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 【春夏作(コウライシ)コウライシ】 ・芝生初期、コウライシ発生初期 ・0.1～0.3g<200～300ml>/㎡ ・茎葉兼土壌処理
9. HAT-211 液 77.5%+0.1% MCCP:0.2% 【保土谷ケイシン】	コウライシ バ	適用性 継続	J埼玉 関西G研 新中国G研 こしま空港CC	(4) ねらい コウライシ発生初期 対象 雑草 一年生(科) - 一年生(葉) - 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 コウライシ 設計 薬量 (本量) /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生初期 発生初期 0.1g <200ml> 0.1g <300ml> 0.3g <200ml>	効果発現から再生 の経過観察(処理 後14・30・60・90 日) 90日以上効果持 続が確認できれば 効果持続期間の確 認	継 続	コウライシに対する効果の確認 (コウライシ) コウライシに対する効果の確認 (コウライシ) フェブリンに対する効果の確認 (ベントグラス) 観測時は草種を確 認し、濃度、厚み等 を記録
10. HAT-213 粒 DCBN:2.0% 【保土谷ケイシン】	コウライシ バ	適用性 継続	J埼玉 森林公園G場 関西G研 新中国G研	(4) ねらい 雑草発生初期 対象 雑草 一年生(科) 全般 一年生(葉) 全般 多年生(科) - 多年生(葉) - その他 シバ 設計 薬量 (本量) /㎡ 土壌処理 芝生初期、雑草発生初期 10g、15g、20g 対) ベントグラス 雑草発生初期 10g		実・継 続	(実) 「春夏作(コウライシ)一年生雑草、 多年生広葉雑草」 ・芝生初期、雑草発生初期 ・10～20g/㎡ ・土壌処理 継) ・シバに対する効果の確認 (コウライシ) ・倍量葉害試験での確認(コウライシ) ・通用試験での確認(コウライシ) ・実証試験での確認(コウライシ) ・萌芽期葉害の確認(コウライシ) ・高温期葉害の確認(コウライシ) ・緑化水への影響の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種・植 新・羅 の	試験担当場所 ◎は試験中など (枚)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
11. HAT-412 液 アゾホス:10.0% MCPP:20.0% 〔限上谷フクワ〕	コウライソ バ	適用性 新規	泉ハークワンGC 福島石川CC 新中国G研	ねらい (3) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 全般 その他 該当 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生初期、雑草生初期(草丈10cm以下) 1.0ml <100ml> 1.0ml <200ml> 2.0ml <100ml> 対) アリンコアザラシ液剤 雑草生初期(草丈10cm以下) 0.4ml <200ml>		雑	雑) ・効果、葉害の確認 (コウライソ)
12. HPW-106 コアアザラシ エトベンゾチオレート:35% 〔限上谷OPL〕	コウライソ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生初期一年生仔科雑草発生前 1.0ml <100ml> 1.0ml <200ml> 2.0ml <100ml> 対) エトベン水和剤 芝生初期一年生仔科雑草発生前 0.75g <200ml>	グリーンと同様の管理 条件の圃場にお いて試験を行う 調査は、薬剤処理 30日～40日を目 途に行う。	実・雑 従来ど おり	実) [春夏作(ベントグ ラス)] ・芝生初期、 ベントグラス前～発 生初期 ・1～2ml <100～300 ml>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 ※3回処理にて効果 および芝(ベントグ ラス)に対する安全 性が確認された 雑) ・発生前～初期 までの散布水量 100ml処理での効果 葉害について 年次変動の確認 (ベントグラス) ・効果葉害の確認 (コウライソ) ・倍量試験での 確認(ベントグ ラス) ・実証試験での 確認(ベントグ ラス) ・高温期葉害の 確認(ベントグ ラス)
	コウライソ バ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生初期一年生仔科雑草発生前 1.0ml <100ml> 1.0ml <200ml> 2.0ml <100ml> 対) エトベン 芝生初期一年生仔 科雑草発生前 0.1ml <200ml>	グリーンと同様の管理 条件の圃場にお いて試験を行う 調査は、薬剤処理 30日～40日を目 途に行う。		
	ベントグ ラス	適用性 継続	自社試験	ねらい (1) 対象 雑草 一年生仔株 ベントグ ラス 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生初期ベントグ ラス発生前 1.0ml <100ml> 2.0ml <100ml> 対) ベントグラス 芝生初期ベントグ ラス発生前 1.0ml <200ml>	グリーンと同様の管理 条件の圃場にお いて試験を行う 調査は、薬剤処理 30日～40日を目 途に行う。		
	ベントグ ラス	適用性 継続	自社試験	ねらい (1) 対象 雑草 一年生仔株 ベントグ ラス 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生初期ベントグ ラス発生前 1.0ml <100ml> 2.0ml <100ml> 対) ベントグラス 芝生初期ベントグ ラス発生前 1.0ml <200ml>	グリーンと同様の管理 条件の圃場にお いて試験を行う 調査は、薬剤処理 30日～40日を目 途に行う。		
13. KUF-2301 水和 ベンゾチオレート:1.25% メセップ:65.0% 〔※〕三井化学工業 三井化学(株)〕	コウライソ バ	適用性 新規	太平洋C美野里C 関西6研 かごしま空池CC (3)	ねらい (3) 対象 雑草 一年生仔株 - 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 薬類 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生初期、薬類発 生前 3g <500ml> 3g⇒2g <500ml> 対) 一任 芝生初期、薬 類発生前	反復処理は、初回 散布14日後を目 安に薬類の再生 初期に散布 初回散布前、2回 目処理直前、2回 目処理14日後を 目安に調査。	実・雑 従来ど おり	実) [ベントグ ラス]薬類 ・芝生初期、 薬類発生前 ・3g <500ml>/㎡ ・茎葉処理(1～2 回) 注)2回目は薬類 の再生時に散布 する。 雑) ・効果葉害の 確認(コウライ ソ) ・倍量試験での 確認 (ベントグ ラス) ・連用試験での 確認 (ベントグ ラス) ・実証試験での 確認 (ベントグ ラス) ・高温期葉害の 確認 (ベントグ ラス)

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・旧 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
14. KUH-132 フロツァル フェキスホロン:34.8% [クワイ化学工業]	シバ	適用性 継続	東日本G研 I崎玉 関西G研 西日本G研	ねらい 対象 雑草 (4) 一年生(株) 全般 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期・雑草発生前 0.3mL <200mL> 0.3mL <300mL> 0.6mL <200mL> 対) フロツァル 芝生育期・雑草発生前 0.6mL <200mL>	調査は処理後90日 程度	実・継 継)	実) [春夏作:(シバ)一年生(科雑草)] ・芝生育期・雑草発生前 ・0.3~0.6mL<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・倍量薬害試験での確認(シバ) ・連用試験での確認(シバ) ・実証試験での確認(シバ) ・萌芽期薬害の確認(シバ) ・高温期薬害の確認(シバ) ・緑化木への影響の確認
15. KUH-913 液 ビスリバクタリド塩 :3.0% [理研ケーン]	シバ	作用性 新規	J福岡	ねらい 対象 雑草 (1) 刈刈刈刈芝生育期(2回処理) 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) 刈刈刈刈 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生育期・雑草発生前 1.0mL×1 <100mL> 0.5mL×2 <100mL> 0.75mL×2 <100mL> 1.0mL×2 <100mL> 対) 一任 芝生育期・雑草発生前	薬剤処理前の雑草草 丈と株直後の調査。 初回散布は6~7月、2 回目処理は刈刈刈刈 の再生が見られた時 期(目安としては1回 目処理40日後)に 実施。 調査は2回目処理直 前と2回目処理40日 後前後に実施。	実・継 継) 従来ど おり	実) [春夏作:(刈刈刈)シバ]一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期 ・0.5~1.0mL<100~200mL>/㎡ ・茎葉処理 注) コクシバでは一時的に変色する場 合がある 継) ・刈刈刈刈に対する効果の確認 (シバ) ・倍量薬害試験での確認 (刈刈刈、シバ) ・連用試験での確認 (刈刈刈、シバ) ・実証試験での確認 (刈刈刈、シバ) ・萌芽期薬害の確認 (刈刈刈、シバ) ・高温期薬害の確認 (刈刈刈、シバ) ・緑化木への影響の確認
16. LNS-001 顆粒水和 74セツロン:50% [エス・ディー・エス・パ・ケイ]	コウライシ バ	適用性 新規	益子CC 静岡G研協会 関西G研 西日本G研	ねらい 対象 雑草 (4) 雑草発生前(処理時期拡大) 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.03g <100mL> 0.03g <200mL> 0.06g <100mL> 対) シバケツブ DG 芝生育期 雑草発生前 0.045g <200mL~250mL>	処理後経過を見なが ら30日後、60日 後、90日後で調査。 多年生雑草が見ら れた場合はその調 査。	実・継 継)	実) [春夏作:(コクシバ)シバ]一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期 ・雑草発生前~発生前43-葉期末 (葉) ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [春夏作:(コクシバ)シバ]一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期、雑草発生前 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [春夏作:(コクシバ)シバ]一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期、雑草発生前 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継) ・雑草発生前処理における効果薬害 についての年次変動の確認 (コクシバ、シバ) ・一年生(科)雑草発生前処理に おける効果の確認(コクシバ) ・コクシバに対する効果の確認 (ハントグラス) ・連用薬害試験での確認 (ハントグラス、ククキアールグラス、バー ミューダグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コクシバ、シバ) ・実証試験での確認 (コクシバ、シバ、ハントグラス、クク キアールグラス、バーミューダグラス) ・緑化木への影響の確認
	コウライシ バ	適用性 新規	益子CC I崎玉 関西G研	ねらい 対象 雑草 (3) 雑草発生前(処理時期拡大) 一年生(株) 全般 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生育期 雑草発生前 0.045g <100mL> 0.045g <200mL> 0.06g <100mL> 対) シバケツブF 芝生育期 雑草発生前 0.02g <100mL~200mL>	処理後経過を見なが ら30日後、60日 後、90日後で調査。 展着剤加用。	実・継 継)	実) [春夏作:(コクシバ)シバ]一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期、雑草発生前 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [春夏作:(ククキアールグラス、バー ミューダグラス)一年生広葉雑草、多年生広葉 雑草 ・芝生育期、雑草発生前 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・展着剤加用 ・茎葉兼土壌処理 継) ・雑草発生前処理における効果薬害 についての年次変動の確認 (コクシバ、シバ) ・一年生(科)雑草発生前処理に おける効果の確認(コクシバ) ・コクシバに対する効果の確認 (ハントグラス) ・連用薬害試験での確認 (ハントグラス、ククキアールグラス、バー ミューダグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コクシバ、シバ) ・実証試験での確認 (コクシバ、シバ、ハントグラス、クク キアールグラス、バーミューダグラス) ・緑化木への影響の確認
	シバ	適用性 新規	益子CC 関西G研 新中国G研 西日本G研	ねらい 対象 雑草 (4) 雑草発生前(処理時期拡大) 一年生(株) - 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.03g <100mL> 0.03g <200mL> 0.06g <100mL> 対) シバケツブ DG 芝生育期 雑草発生前 0.045g <200mL~250mL>	処理後経過を見なが ら30日後、60日 後、90日後で調査。 多年生雑草が見ら れた場合はその調 査。	実・継 継)	実) [春夏作:(コクシバ)シバ]一年生 広葉雑草、多年生広葉雑草 ・芝生育期、雑草発生前 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [春夏作:(ククキアールグラス、バー ミューダグラス)一年生広葉雑草、多年生広葉 雑草 ・芝生育期、雑草発生前 ・0.03~0.06g<100~200mL>/㎡ ・展着剤加用 ・茎葉兼土壌処理 継) ・雑草発生前処理における効果薬害 についての年次変動の確認 (コクシバ、シバ) ・一年生(科)雑草発生前処理に おける効果の確認(コクシバ) ・コクシバに対する効果の確認 (ハントグラス) ・連用薬害試験での確認 (ハントグラス、ククキアールグラス、バー ミューダグラス) ・倍量薬害試験での確認 (コクシバ、シバ) ・実証試験での確認 (コクシバ、シバ、ハントグラス、クク キアールグラス、バーミューダグラス) ・緑化木への影響の確認

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種別・ 新・ 経路	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
16. INS-001 顆粒水和 つづき	ヘントグ ラス	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 コノハ生育期 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 コノハ 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生育期 コノハ生育期 0.03g <100mL> 0.03g <200mL> 0.06g <100mL> 対) トウガラシ水和剤 芝生育期 コノハ発生前~生育期 80~120倍 <200mL~300mL>	処理後経過を見な がら2週間後、4週 間後に調査。		
17. MBF-131 フロップル シラ:40% [丸和パイヤカホ]	ヘントグ ラス	適用性 継続	東日本G研 新中国G研 西日本G研	ねらい (3) 対象 雑草 雑類生育期 一年生科 - 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 雑類 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉処理 芝生育期 雑類生育期 2.0mL×2 <200mL> 3.0mL <200mL> 4.0mL <200mL> 対) モノタケ水和剤 芝生育期 雑類生育期 3.0g <200mL>	処理後2週間程度 で調査	実・雑	実) [(ヘントグ) 雑類] ・芝生育期、雑類生育期 ・2~4mL<200mL>/㎡ ・茎葉処理 雑) ・倍量試験での確認(ヘントグ)ラ ・連用試験での確認(ヘントグ)ラ ・実証試験での確認(ヘントグ)ラ ・高温期葉害の確認(ヘントグ)ラ
18. MBH-146 顆粒水和 既知化合物:48% [丸和パイヤカホ]	コウライシ ハ	作用性 新規	植調研	ねらい (1) 対象 雑草 雑草発生前 一年生科 全般 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.075g <200mL> 0.1g <200mL> 0.125g <200mL> 対) バリケードフロップル 芝生育期 雑草発生前 0.15mL <200mL>	処理後90~120日 で調査	雑	雑) ・効果葉害の確認 (コウライシ、シハ)
	シハ	作用性 新規	植調研	ねらい (1) 対象 雑草 雑草発生前 一年生科 全般 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.075g <200mL> 0.1g <200mL> 125g <200mL> 対) バリケードフロップル 芝生育期 雑草発生前 0.15mL <200mL>	処理後90~120日 で調査		
	コウライシ ハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 雑草発生前 一年生科 全般 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.075g <200mL> 0.075g <300mL> 0.125g <200mL> 対) バリケードフロップル 芝生育期 雑草発生前 0.15mL <200mL>	処理後90~120日 で調査		
	シハ	適用性 新規	東日本G研 新中国G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 雑草発生前 一年生科 全般 一年生広葉 - 多年生科 - 多年生広葉 - その他 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.075g <200mL> 0.075g <300mL> 0.125g <200mL> 対) バリケードフロップル 芝生育期 雑草発生前 0.15mL <200mL>	処理後90~120日 で調査		

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 〔委託者〕	作物名	試験の 種類・種 別	試験担当場所 〔は試験中など (数)〕	ねらい	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
19. MON-151 乳 剤 6:32% 〔クワケル日本〕	コウライソ バ	適用性 継統	植調研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい 対象 雑草	一年生(科) -	ヤハス'ワグは本葉が 1-2枚程度生育し ている状態までに 散布 調査は薬剤散布90 日後希望。	実・継	実)〔春夏作: (コウライソ'バ)一年生(科 雑草) ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.15~0.3ml<200~300ml>/㎡ ・ 土壌処理 〔春夏作: (コウライソ'バ)一年生(科 雑草) ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.075~0.1ml<200~300ml>/㎡ ・ 土壌処理 〔春夏作: (コウライソ'バ)ヤハス'ワグ〕 ・ 芝生育期、雑草発生前 ・ 0.1~0.2ml<200~300ml>/㎡ ・ 土壌処理
					一年生広葉 ヤハス'ワグ			
	ソバ	適用性 継統	植調研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい 対象 雑草	一年生(科) -	ヤハス'ワグは本葉が 1-2枚程度生育し ている状態までに 散布 調査は薬剤散布90 日後希望。	実・継	雑)〔春夏作: (コウライソ'バ)一年生(科 雑草)に対する効果の確認 (コウライソ'バ) ・ 効果薬害の確認(クワケル'バ)〕
					一年生広葉 ヤハス'ワグ			
ケンクッキー 'ブルー'グ ラス	適用性 新規	プラント'リ'那須GC 東日本G研 埼玉'ス'ア'2002 (3)	ねらい 対象 雑草	一年生(科) 全般	雑草発生前	科雑草はミソバ、 ワカ'ワグ'等対象 広葉雑草は3~4種 程度発生対照希望	実・継	雑)〔春夏作: (ケンクッキー'ブルー') 一年生(科)雑草発生初期 ・ 0.075ml <200ml> 0.075ml <300ml> 0.15ml <200ml> 対) バ'イ'水剤 芝生育期 雑草発生前 0.075g <200-300ml>
				一年生広葉 全般				
ケンクッキー 'ブルー'グ ラス	倍量薬害 新規	東日本G研 新中国G研 (2)	ねらい 対象 雑草	一年生(科) -	倍量薬害	雑草発生前	実・継	雑)〔春夏作: (ケンクッキー'ブルー') 一年生(科)雑草発生初期 ・ 0.15ml <200ml> 0.3ml <200ml> 0.3ml <400ml>
				一年生広葉 -				
20. NR-29 水和 剤 酸:80% 〔日本専送〕	ヘント'グ ラス	適用性 継統	太平洋C美野里C 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい 対象 雑草	落類発生初期(3回処理)	14日間隔で3回散 布 各処理3日、7日、14 日後の効果薬害を 観察 2回目処理前、3回 目処理前の調査行 うも記載する。	実・継	実)〔ヘント'グラス〕落類 ・ 芝生育期、落類発生初期 ・ 1.5~3g<100ml>/㎡ 3回 ・ 薬害処理 注) 散布間隔は2週間を目安とする 雑)〔春夏作: (ヘント'グラス) ・ 通用試験での確認(ヘント'グラス) ・ 実証試験での確認(ヘント'グラス) ・ 高温期薬害の確認(ヘント'グラス)
					一年生(科) -			
21. SB-201 乳 剤 25% 〔エス'ア'イ'エス'バ'イ'グ 〕	ケンクッキー 'ブルー'グ ラス	適用性 新規	泉'ア'GC 東日本G研 埼玉'ス'ア'2002 静岡'場'協'会 新中国G研 (5)	ねらい 対象 雑草	一年生(科) 全般	主に'ア'リン'まわり での使用を想定し ているため、'ア'リン に準じた管理場 場で試験を行う 1回処理区の場合、 調査は処理後60日 程度で行う 2回処理区は30日 間隔を目安に処理 を行う 調査は2回目処理 直前と2回目処理 後30日程度で行 う。	実・継	実)〔春夏作: (ケンクッキー'ブルー') 一年生(科)雑草発生 期 ・ 0.2~0.4ml<200-300ml>/㎡ ・ 土壌処理 〔春夏作: (ケンクッキー'ブルー') 一年生(科)雑草発生 期 ・ 0.3~0.4ml<200-300ml>/㎡ ・ 土壌処理 〔春夏作: (ケンクッキー'ブルー') 一年生(科)雑草発生 期 ・ 0.2~0.3ml<200-300ml>/㎡ 2回 ・ 0.4ml<200-300ml>/㎡ ・ 薬害土壌処理 注) 0.2~0.3ml<200~300ml>2回処理 の散布間隔は1ヶ月程度を目安とす る。 雑)〔春夏作: (ケンクッキー'ブルー') 一年生(科)雑草発生 期 ・ 0.2~0.3ml<200-300ml>/㎡ ・ 実証試験での確認(ヘント'グラス) ・ 実証試験での確認(ヘント'グラス)
					一年生広葉 -			

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 新・羅 の 別	試験担当場所 <>は試験中など (数)	ねらい・試験設計等	備考	判定	判定内容
22. SB-217顆粒水和剤 トリフアラム:30% メカホゾン:10% 【エス・デー・イー・エス・パ・イテック】	コウライシバ	作用性 羅統	東日本G研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生仔株 - 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 夏季高温期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL>	夏季高温期に散布 を行う。	実・羅 統 来 と お り	実) [春夏作; (コウライシバ、シバ) 一年生 雑草] ・ 芝生育期、雑草発生前～発生初期 ・ 0.1～0.2g<200～300mL>/㎡ ・ 土壌処理 羅) ・ 連用試験での確認 (コウライシバ、シバ) ・ 実証試験での確認 (コウライシバ、シバ) ・ 萌芽期薬害の確認 (コウライシバ、シバ) ・ 高温期薬害の確認 (コウライシバ、シバ) ・ 緑化木への影響の確認
	シバ	作用性 羅統	東日本G研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生仔株 - 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 夏季高温期 0.1g <200-300mL> 0.15g <200-300mL> 0.2g <200-300mL>	夏季高温期に散布 を行う。		
	コウライシバ	実証試験 羅統	東日本G研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.15g <200-300mL>	処理90日程度で調 査を行う。		
	シバ	実証試験 羅統	東日本G研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.15g <200-300mL>	処理90日程度で調 査を行う。		
	コウライシバ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般(但しキ科を除く) 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.075mL <200mL> 0.075mL <300mL> 0.15mL <200mL> 効) エキソント顆粒水和剤 雑草発生初期～生育期 0.0045g <150mL～250mL>	ヤブツバ発生群落と あるところでの試 験を希望。 処理後経過を見な がら30日後、60日 後、90日後で調査。		
	シバ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 J福岡	ねらい (3) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般(但しキ科を除く) 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.075mL <200mL> 0.075mL <300mL> 0.15mL <200mL> 効) エキソント顆粒水和剤 雑草発生初期～生育期 0.0045g <150mL～250mL>	ヤブツバ発生群落と あるところでの試 験を希望。 処理後経過を見な がら30日後、60日 後、90日後で調査。		
24. SB-225顆粒水和剤 カエントロン:45% 既知化合物:5% 【エス・デー・イー・エス・パ・イテック】	コウライシバ	作用性 新規	植調研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200-300mL> 雑草発生初期 (シバ 1～2L) 0.3g <200-300mL> (シバ 3～4L) 0.3g <200-300mL> 効) ハイトウツバ 0.35mL <250mL>		羅	羅) ・ 効果薬害の確認 (コウライシバ、シバ)
	シバ	作用性 新規	植調研 J福岡	ねらい (2) 対象 雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 <水量> /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200-300mL> 雑草発生初期 (シバ 1～2L) 0.3g <200-300mL> (シバ 3～4L) 0.3g <200-300mL> 効) ハイトウツバ 0.35mL <250mL>			

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種類 ・種 の別	試験担当場所 ↳は試験中など (数)	ねらい	試験設計等	備考	判定	判定内容
24. SB-225 顆粒水和 つづき	/シバ	作用性 新規	植調研 福岡 (2)	ねらい	処理適期の確認			
				対象 雑草	一年生(科) 全般			
				一年生広葉 全般				
				多年生(科) -				
設計 葉量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200-300mL> 雑草発生初期 (ヒシバ 1~2L) 0.3g <200-300mL> (ヒシバ 3~4L) 0.3g <200-300mL> ※) ハイドクワアツ 0.35mL <250mL>							
コウライシ バ	適用性 新規	埼玉 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい	雑草発生前		処理90日程度で調 査を行う。 葉量0.15gは新中 国G研のみ実施。		
			対象 雑草	一年生(科) 全般				
			一年生広葉 全般					
			多年生(科) -					
設計 葉量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.15g <200mL>, 0.15g <300mL> 0.2g <200mL>, 0.2g <300mL> 0.4g <200mL> 対) ケーブ®顆粒水和剤 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200mL>							
コウライシ バ	適用性 新規	埼玉 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい	雑草発生初期		処理90日程度で調 査を行う。		
			対象 雑草	一年生(科) 全般				
			一年生広葉 全般					
			多年生(科) -					
設計 葉量 <水量> /㎡	茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.2g <200mL> 0.2g <300mL> 0.4g <200mL> 対) ケーブ®顆粒水和剤 芝生育期 雑草発生初期 0.3g <200mL>							
/シバ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい	雑草発生前		処理90日程度で調 査を行う。 葉量0.15gは新中 国G研のみ実施。		
			対象 雑草	一年生(科) 全般				
			一年生広葉 全般					
			多年生(科) -					
設計 葉量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.15g <200mL>, 0.15g <300mL> 0.2g <200mL>, 0.2g <300mL> 0.4g <200mL> 対) ケーブ®顆粒水和剤 芝生育期 雑草発生前 0.3g <200mL>							
/シバ	適用性 新規	東日本G研 関西G研 新中国G研 (3)	ねらい	雑草発生初期		処理90日程度で調 査を行う。		
			対象 雑草	一年生(科) 全般				
			一年生広葉 全般					
			多年生(科) -					
設計 葉量 <水量> /㎡	茎葉兼土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 0.2g <200mL> 0.2g <300mL> 0.4g <200mL> 対) ケーブ®顆粒水和剤 芝生育期 雑草発生初期 0.3g <200mL>							
25. SB-2092 粒 トクソフアム:0.3% 7:メカバザン:0.2% 【エス・ティ・イー・エス・ハイテック 】	コウライシ バ	適用性 継続	益子CC 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい	雑草発生初期		処理90日程度で調 査を行う。	実・雑 従 来 ど お り (実) ・春夏作; (コウライシバ、/シバ) 一年生 雑草 ・芝生育期、雑草発生前~発生初期 ・10~20g/㎡ ・土壌処理 (雑) ・発生初期処理での多年生広葉雑草 に対する効果の確認 (コウライシバ、/シバ) ・運用試験での確認 (コウライシバ、/シバ) ・実用試験での確認 (コウライシバ、/シバ) ・萌芽期被害の確認 (コウライシバ、/シバ) ・苗前期被害の確認 (コウライシバ、/シバ) ・緑化木への影響の確認
				対象 雑草	一年生(科) -			
				一年生広葉 -				
				多年生(科) -				
設計 葉量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 10g、15g、20g ※) シバネーブ II 粒剤 芝生育期 雑草発生初期 20g							
/シバ	適用性 継続	関西G研 新中国G研 西日本G研 (3)	ねらい	雑草発生初期		処理90日程度で調 査を行う。		
			対象 雑草	一年生(科) -				
			一年生広葉 -					
			多年生(科) -					
設計 葉量 <水量> /㎡	土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 10g、15g、20g ※) シバネーブ II 粒剤 芝生育期 雑草発生初期 20g							

A. 除草剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種別・ 新・種 別	試験担当場所 ▷は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備考	判定	判定内容
25. SB-2092 粒 つづき	コウライシ バ	作用性 雑草	新中国G研 J福岡	(2) ねらい 高温期葉害 対象雑草 一年生仔株 - 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 夏季高温期 10g, 15g, 20g	夏季高温期に散布 を行う。		
	シバ	作用性 雑草	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 高温期葉害 対象雑草 一年生仔株 - 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 夏季高温期 10g, 15g, 20g	夏季高温期に散布 を行う。		
	コウライシ バ	実証試験 雑草	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 実証試験 対象雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 15g	処理90日程度で調 査を行う。		
	シバ	実証試験 雑草	東日本G研 J福岡	(2) ねらい 実証試験 対象雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生初期 15g	処理90日程度で調 査を行う。		
26. SB-3651 顆粒水和 剤 チオラニドイソプロピル (TPN):50% [エス・デ・イ・エス・バ・イテッ ク]	ベントグ ラス	適用性 雑草	東日本G研 西日本G研	(2) ねらい 雑草発生前(3回処理) 対象雑草 一年生仔株 - 一年生広葉 - 多年生仔株 - 多年生広葉 - その他 雑草 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 2g (3回処理) <200ml> 対) グリコリン顆粒水和剤 芝生育期 雑草発生前 2g (3回処理) <500ml>	約2週間おきに計3 回処理し、効果の 継続を確認。 刈込み直後の散布 は避ける。 2回目、3回目処理 直前及び3回目処 理2週間後に調査。	実・雑 従 来 ど お り	実) [(コウライシ) 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・2g<500ml>/㎡ 3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間を目安とする [ベントグラス] 雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・2g<200~500ml>/㎡ 2~3回 ・土壌処理 注) 散布間隔は2週間を目安とする
							雑) -散布水量200mlでの年次変動の確認 (コウライシ) ・適用試験での確認 (コウライシ、ベントグラス) ・実証試験での確認 (コウライシ、ベントグラス) ・萌芽期葉害の確認 (コウライシ、ベントグラス)
27. SG-180 フェナク ス 既知化合物A:12% 既知化合物B:2.5% [住化ケリーン]	コウライシ バ	作用性 新規	植調研 J福岡	(2) ねらい 雑草発生前 対象雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1ml, 0.2ml, 0.3ml 0.4ml, 0.5ml, 0.6ml <200~300ml> 対) フェナクスフェナクス 芝生育期 雑草発生前 0.1ml <200~300ml>	3月下旬~4月上旬 の処理を希望。 多年生反葉雑草の 観察は発生した場 合に調査。 調査は90日を希望 しますが、効力持 続期間を確認しな がら調査日数の短 縮・延長を希望。	雑	雑) ・効果葉害の確認 (コウライシ、シバ)
	シバ	作用性 新規	植調研 新中国G研	(2) ねらい 雑草発生前 対象雑草 一年生仔株 全般 一年生広葉 全般 多年生仔株 - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 薬量 (水量) /㎡ 土壌処理 芝生育期 雑草発生前 0.1ml, 0.2ml, 0.3ml 0.4ml, 0.5ml, 0.6ml <200~300ml> 対) フェナクスフェナクス 芝生育期 雑草発生前 0.1ml <200~300ml>	3月下旬~4月上旬 の処理を希望。 調査は90日を希望 しますが、効力持 続期間を確認しな がら調査日数の短 縮・延長を希望。		

A. 除草剤

薬剂名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種 類 新・羅 の 別	試験担当場所 ○は試験中など (数)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
27. SG-180 フロアブル つづき [委託者]	コウライシ バ	適用性 新規	静岡G場協会 関西G研 (3)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 葉量 芝生育期 雑草発生前 <水量> 0.2mL <200mL> /㎡ 0.2mL <300mL> 0.4mL <200mL> 対) フェンチックスフロアブル 芝生育期 雑草発生前 0.1mL <200~300mL>	3月下旬~4月上旬 の処理を希望。 調査は90日を希望 しますが、効力持 続期間を確認しな がら調査日数の短 縮・延長を希望。		
	シバ	適用性 新規	東日本G研 静岡G場協会 関西G研 (3)	ねらい 雑草発生前 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 全般 その他 - 設計 葉量 芝生育期 雑草発生前 <水量> 0.2mL <200mL> /㎡ 0.2mL <300mL> 0.4mL <200mL> 対) フェンチックスフロアブル 芝生育期 雑草発生前 0.1mL <200~300mL>			
28. SR-406 水和 剤(アミノ酸) [アミスターイネクス]	ベントグ ラス	適用性 新規	太平洋C美野里C 新中国G研 かごしま空港CC (3)	ねらい コケ類発生初期(3回処理) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 コケ類 設計 葉量 芝生育期、コケ類発生初期 <水量> 1g 1.67g 2g (3回処理) <500mL> /㎡ 対) グラコニールコケ類発生初期 2mL (3回処理) <500mL>	展着剤不要。 約2週間間隔で3回 処理。 2回目、3回目散布 時、および最終散 布2週間後に調査。	実・継 注) 散布間隔は2週間を目安とする 継) ・コケ類に対する効果の確認 (ベントグラス) ・倍量試験での確認(ベントグラス) ・連用試験での確認(ベントグラス) ・実証試験での確認(ベントグラス) ・高温期葉害の確認(ベントグラス)	
	ベントグ ラス	適用性 継続	太平洋C美野里C 新中国G研 かごしま空港CC (3)	ねらい 藻類発生初期(3回処理) 対象 雑草 一年生(株) - 一年生広葉 - 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 藻類 設計 葉量 芝生育期、藻類発生初期 <水量> 1g 1.67g 2g (3回処理) <500mL> /㎡ 対) プロクティムWDG 芝生育期、藻類発生初期 2g (3回処理) <500mL>			
29. フラケ-6 乳 剤(43%) [日産化学工業]	シバ	適用性 継続	東日本G研 (1)	ねらい 雑草発生前(年次変動の確認) 対象 雑草 一年生(株) 全般 一年生広葉 全般 多年生(株) - 多年生広葉 - その他 - 設計 葉量 芝生育期、雑草発生前 <水量> 0.6mL <200mL> /㎡ 0.6mL <300mL> 1.0mL <200mL> 対) 慣行処理(一任)	春期の雑草発生前 での処理。 処理後60-90日 で調査。	実・継 従来ど おり	実) [春夏作;(コウライシバ、シバ)一年生雑 草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.6~1.0mL<250mL>/㎡ ・土壌処理 [春夏作;(コウライシバ)ヒメギ]) ・芝生育期、雑草発生前 ・0.6~1.0mL<250mL>/㎡ 2回 ・土壌処理 注) 散布間隔は45~60日を目安とす る [春夏作;(ワタネブレイグ)一年生雑草] ・芝生育期、雑草発生前 ・0.6~1.0mL<200~300mL>/㎡ ・土壌処理 継) ・年次変動の確認(シバ) ・倍量葉害での確認(コウライシバ、シバ、ケ ンクキブレグ)) ・連用試験での確認(コウライシバ、シバ、ケ ンクキブレグ)) ・実証試験での確認(コウライシバ、シバ、ケ ンクキブレグ)) ・高温期葉害の確認(コウライシバ、シバ、ケ ンクキブレグ)) ・萌芽期葉害の確認(コウライシバ、シバ)

B. 生育調節剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) 【委託者】	作物名	試験の 種 類 ・ 種 別	試験担当場所 ○は試験中など (枚)	ねらい・試験設計 等	備 考	判定	判定内容
1. RAW-1402 液 新規化合物:0.85% 【BASFジャパン】	コウライソ バ	作用性 新規	新中国G研 J福岡 (2)	ねらい 伸長抑制効果 茎葉処理 芝生育期 0.4mL<100~200mL> 0.6mL<100~200mL> 0.8mL<100~200mL> 対)ケラチンフェイド水和 茎葉処理 芝生育期 0.2g<100~200mL> 対)ピリマックス液剤 茎葉処理 芝生育期 0.05mL<100~200mL>		継	継) ・効果、葉害の確認(ソバ)
	ソバ	作用性 新規	新中国G研 J福岡 (2)	ねらい 伸長抑制効果 茎葉処理 芝生育期 0.4mL<100~200mL> 0.6mL<100~200mL> 0.8mL<100~200mL> 対)ケラチンフェイド水和 茎葉処理 芝生育期 0.2g<100~200mL> 対)ピリマックス液剤 茎葉処理 芝生育期 0.05mL<100~200mL>			
	ソバ	適用性 新規	植調研 関西G研 (2)	ねらい 伸長抑制効果 茎葉処理 芝生育期 0.4mL<100mL> 0.4mL<200mL> 0.8mL<100mL> 対)慣行			
2. NGR-105 粒 フルゲラミドール:0.5% 【日本農薬】	コウライソ バ	適用性 継続	東日本G研 植調研 関西G研 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい 伸長抑制効果 全面土壌処理 芝生育期 10g, 30g, 40g		実・継	実)【春夏作;(コウライソ、ソバ)芝伸長抑制] ・芝生育期 ・10~40g/㎡ ・土壌処理 注)一時的に変色する場合がある 継) ・連用試験での確認 (コウライソ、ソバ) ・実証試験での確認 (コウライソ、ソバ) ・高温期葉害の確認 (コウライソ、ソバ)
	ソバ	適用性 継続	東日本G研 植調研 関西G研 新中国G研 J福岡 (5)	ねらい 伸長抑制効果 全面土壌処理 芝生育期 10g, 30g, 40g			
3. NGR-1402 水和 イブ ロシアアミン:20.0% フルゲラミドール:25.0% 【日本農薬】	ベントグ ラス	作用性 新規	東日本G研 (1)	ねらい 生育促進効果(発根促進、芽数促進) 全面茎葉処理 芝生育期 2g<500mL> (1回処理) 2g<500mL> (2回処理) 2g<500mL> (3回処理) 2g<500mL> (4回処理) 比)ピリマックス液剤 1mL<200mL>		—	(作用性)
4. RGP-101 液 ベンジルアミン:2.0% 【理研ケーン】	ケンタッキー ブルーグ ラス	適用性 継続	泉パークワンGC 東日本G研 自社試験 (3)	ねらい スズメノカタビラ出穂抑制効果 茎葉処理 スズメノカタビラ出穂前から出穂始期 0.6mL×3<100mL> 0.6mL×3<200mL> 1.2mL×3<100mL>		実・継	実)【春夏作;(ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス)スズメノカタビラ出穂抑制] ・芝生育期 ・スズメノカタビラ出穂前~出穂始期 ・0.6~1.2mL <100~200mL>/㎡ 3回 散布間隔は20~25日を目安 ・茎葉処理 継) ・効果・葉害の確認 (ケンタッキーブルーグラス) ・倍長葉害試験での確認 (ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス) ・連用葉害試験での確認 (ベントグラス、ケンタッキーブルーグラス)
5. SYJ-201 フロアブル バクワトラゲール:21.5% 【ソジエンジャパン】	日本芝 (コウライソ バ)	適用性 継続	植調研 関西G研 新中国G研 J福岡 (4)	ねらい 芝および雑草の草丈伸長抑制効果 全面茎葉散布または土壌散布 芝生育期 雑草生育初期 0.75mL<100mL> 0.75mL<300mL> 1.5mL<100mL>		実・継	実)【寒地型芝、生育抑制・刈込み省力] ・刈込み日前~刈込み直後 ・0.4mL<300mL>/㎡ ・全面(茎葉・土壌)処理 [春夏作;(コウライソ)芝および雑草の草丈伸長抑制] ・芝生育期 雑草生育初期 ・0.75~1.5mL<100~300mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 [春夏作;(ベントグラス)スズメノカタビラ出穂抑制] ・芝生育期、スズメノカタビラ出穂前 ・0.04~0.08mL<100~200mL>/㎡ ・茎葉兼土壌処理 継)・芝と雑草の草丈伸長抑制効果について(ソバ、ソバ) ・スズメノカタビラ密度軽減効果について(ベントグラス) ・倍長葉害試験での確認 (コウライソ、ベントグラス) ・連用葉害試験での確認 (コウライソ、ベントグラス) ・前草期葉害の確認(コウライソ) ・高温期葉害の確認(コウライソ)

C. 展着剤

薬剤名 有効成分および 含有率(%) [委託者]	作物名	試験の 種類 新・継 の別	試験担当場所 (又は試験中など (数)	ねらい試験設計等	備考	判定	判定内容
1. NK-0701 展着剤 ジオキサスルホホウ酸ナトリウム: 22.5% ポリオキシエチレンアルキルエーテル (PRTR-1種): 50.0% [日本化薬]	日本芝	適用性 新規	新中国G研	ねらい (1) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 ヒメダカ、ハマスガ 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生育期 雑草発生初期 インプ→DF0.03g+本剤10000倍 <300mL> インプ→DF0.03g+本剤3000倍 <300mL> インプ→DF0.05g+本剤3000倍 <300mL> インプ→DF0.05g+本剤1500倍 <300mL> 対) インプ→DF 芝生育期 雑草発生初期 0.05g <300mL>	コウライバもしくはノ ゾバで試験。 ヒメダカ、ハマスガは試 験区内に発生があ れば調査。	-	判定なし
	西洋芝	適用性 新規	東日本G研	ねらい (1) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 - その他 ヒメダカ、ハマスガ 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生育期 雑草発生初期 インプ→DF0.03g+本剤10000倍 <300mL> インプ→DF0.03g+本剤3000倍 <300mL> インプ→DF0.05g+本剤3000倍 <300mL> インプ→DF0.05g+本剤1500倍 <300mL> 対) インプ→DF 芝生育期 雑草発生初期 0.05g <300mL>	ベントグラスもしくは ケンクォーブローグラスで 試験。 ヒメダカ、ハマスガは試 験区内に発生があ れば調査。	-	判定なし
	日本芝	適用性 新規	新中国G研	ねらい (1) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生育期 雑草発生初期 ブラコンM0.5mL+本剤10000倍 <200mL> ブラコンM0.5mL+本剤3000倍 <200mL> ブラコンM1.5mL+本剤3000倍 <200mL> ブラコンM1.5mL+本剤1500倍 <200mL> 対) ブラコンM 芝生育期 雑草発生初期 0.5mL <200mL> , 1.5mL <200mL>	コウライバもしくはノ ゾバで試験	-	判定なし
	西洋芝	適用性 新規	東日本G研	ねらい (1) 対象 雑草 一年生/科 - 一年生広葉 全般 多年生/科 - 多年生広葉 全般 その他 設計 薬量 (水量) /㎡ 茎葉処理 芝生育期 雑草発生初期 ブラコンM0.75mL+本剤10000倍 <200mL> ブラコンM0.75mL+本剤3000倍 <200mL> ブラコンM1.5mL+本剤3000倍 <200mL> ブラコンM1.5mL+本剤1500倍 <200mL> 対) ブラコンM 芝生育期 雑草発生初期 1.5mL <200mL>	ケンクォーブローグラスも しくはベレゴライ グラスで試験	-	判定なし